

店舗一覧

明石市中央部	本店	明石市本町2-3-20	078(912)4567
	駅前支店	明石市桜町11-14	078(911)8181
	丸支店	明石市大蔵天神町4-7	078(912)0337
	林崎支店	明石市林崎町1-4-20	078(922)7431
明石市西部	西明石支店	明石市西明石南町2-14-7	078(923)1101
	市場支店	明石市藤江2029-1	078(921)3020
	大久保支店	明石市大久保町駅前2-1-7	078(936)2165
	井ヶ島支店	明石市大久保町江井島835-1	078(946)0623
	魚住支店	明石市魚住町錦が丘1-12-1	078(947)6799
二見支店	明石市二見町東二見887-1	078(942)1221	
加古川市・高砂市・播磨町	加古川支店	加古川市加古川町寺家町311-3	079(422)6066
	宝殿支店	高砂市神爪1-10-2	079(432)8711
	本荘支店	加古郡播磨町南野添1-2-1	079(435)3270
三木市・小野市・加東市	三木支店	三木市大村63-9	0794(82)5211
	緑が丘支店	三木市緑が丘東2-9-1	0794(84)1231
	野支店	小野市上本町237-2	0794(63)1135
	天神支店	加東市天神492	0795(47)1011
滝野支店	加東市上滝野2413	0795(48)2010	
神戸市東部	本山支店	神戸市東灘区田中町3-3-3	078(431)1061
	魚崎支店	神戸市東灘区魚崎南町7-7-7	078(411)3281
	六甲支店	神戸市灘区桜口町3-1-1-107	078(841)0141
	西灘支店	神戸市灘区岸地通4-4-15	078(802)1431
神戸市中央部	神戸支店	神戸市中央区小野柄通5-1-16	078(231)2731
	栄支店	神戸市中央区下山手通3-1-13	078(391)0222
	宇治川支店	神戸市中央区北長狭通7-3-5	078(341)4502
	兵庫支店	神戸市兵庫区浜崎通3-22	078(671)3443
	平野支店	神戸市兵庫区上祇園町4-4	078(361)0411
板宿支店	神戸市須磨区前池町3-4-1	078(735)6001	
神戸市北部	鈴蘭台支店	神戸市北区鈴蘭台北町1-9-1	078(591)1221
	ひよどり台支店	神戸市北区ひよどり台2-1-2	078(743)1621
	藤原台支店	神戸市北区有野中町1-9-14	078(982)2489
神戸市西部	垂水支店	神戸市垂水区神田町3-10	078(706)2222
	舞子支店	神戸市垂水区西舞子2-14-21	078(784)8171
	伊川谷支店	神戸市西区池上2-21-8	078(975)0571
	玉津支店	神戸市西区王塚台7-96-1	078(928)6110
西宮市	西宮今津支店	西宮市今津出在家町1-6	0798(31)2489

〈にっしん〉

# 最新の決算 ミニガイド

◆ 2021年5月 ◆

We will make a fresh step everyday.



彫画:伊藤 太一



日新信用金庫

LINE公式アカウント

@nisshin-shinkin



フリーダイヤル イコー ニッシンバンク  
0120-15-2489  
(受付時間)平日午前9時から午後5時まで  
<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

## ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2020年度の日本国内の景気は、新型コロナウイルスの感染拡大による戦後最大の落ち込みが初期にあった後、海外経済の回復傾向により輸出や鉱工業生産が増加を続け、大企業を中心に企業収益や業況感が改善し、基調は持ち直しとなりました。しかしながら、その動きは弱く、厳しい状態となりました。今年に入り新型コロナウイルスのワクチン接種も順次始まり、接種率が高まることにより感染に対して一定の効果が見込まれる一方、ワクチン普及のペースや感染力が強く重症化率の高い変異株の急増といった不確実性の高まりから、景気の先行きへの不透明感が払拭できない状況となっております。

地域経済の担い手である中小企業・小規模事業者は、経営者の高齢化や後継者難、慢性的な人材不足といった構造的な課題を抱えるなかで、飲食や宿泊などのサービス消費の下押し圧力の強まりにより非常に厳しい状況におかれています。

そうした中、〈にっしん〉は、新型コロナウイルス感染拡大による影響の状況把握に努め、資金繰りや課題解決への支援に積極的に取り組み、多くの企業や事業者の皆さま方にご利用・ご活用いただくことができました。お蔭をもちまして、2021年3月末の預金残高は8,044億円、貸出金残高は3,754億円となり、当期純利益は1,793百万円を計上することができました。

また、経営の健全性を示す自己資本比率は11.20%と、国内基準の4%を大きく上回っており、十分な水準にあります。

決算の概況については、次ページ以降に分かりやすくグラフを用いてまとめておりますので、ご一読いただければ幸甚でございます。

〈にっしん〉は、お客さまとのリレーションシップを追求し、地域に根ざした協同組織金融機関として、地域住民や中小企業が抱える課題の解決に全力を尽くし、その幸せづくりと地域社会全体の成長に貢献します。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年5月

## 「にっしん名店・銘品セレクション」の発刊

2020年12月、お取引先小売店、飲食店の皆さまへのご支援と、地元の新しい魅力の発見と発信を目的とし、お取引先小売店、飲食店様の紹介冊子「にっしん名店・銘品セレクション」を創刊しました。

お取引先事業者様の紹介冊子の発刊は、〈にっしん〉として初めての試みであり、営業店の担当者から推薦を受けて、明石、神戸、三木を中心とした34の事業者様にご協力いただきました。



## しんきん食のオンライン商談会 「まんぶく兵庫2020」への参画

2020年12月、コロナ禍で多くの対面型の商談会が中止・延期となる中、食品を取り扱うお客さまの販路開拓のご支援の一環として、信金中央金庫と連携してオンラインを活用した商談会を開催しました。



## 地域貢献活動

### ●新型コロナウイルス感染症 あかし支え合い基金への寄附

2020年10月、明石市が新型コロナウイルス感染症防止対策や市内の医療機関を支援するために設立した同基金へ、新型コロナウイルスの影響で打撃を受けている経済が活気づくよう地元企業として貢献したく300万円寄附いたしました。



### ●加東市手話言語強化週間に参画

加東市は「手話のまち「加東」」をアピールするため、毎年11月24日から30日までの1週間を「加東市手話言語強化週間」として定めています。  
加東市にある天神支店及び滝野支店は2020年より参画し、期間中、ご来店いただいたお客さまに、「おはようございます」、「こんにちは」、「ありがとうございます」、「お待ちしております」などのあいさつを手話でさせていただきます。



### ●まちなか図書館の設置

信金中央金庫の企業版ふるさと納税「SCBふるさと応援団」に明石市と連携した事業「明石まちなか図書館」が選定され、寄附金1,000万円を受けることが決定しました。  
この寄附金を活用し明石市と連携のうえ、明石市内全店舗に「まちなか図書館」を設置し、小さなお子さまからご年配の方まで誰もが手を伸ばせば本に触れる機会を創出し、地域のまちづくり活動に貢献していきます。

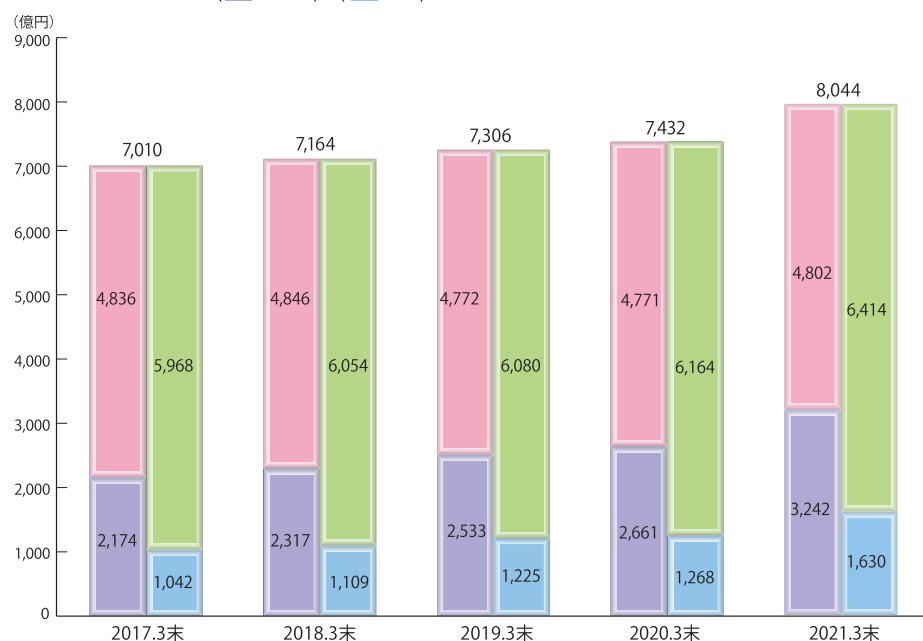


### ●地域おうえん定期預金

明石市及び神戸市の子育て支援事業を応援するため、募集総額の0.01%相当額を寄附する「地域おうえん定期預金」を販売しました。  
皆さまの温かいご支援、ご協力により、多くのご契約をいただき、2021年1月に明石市へ34万円、2020年11月に神戸市へ38万円寄附いたしました。



## 〈預金〉



### 【預金】

預金は、2020年3月末に比べて612億円増加し8,044億円となりました。期末預金残高は過去最高となりました。

定期性預金は微増となり、流動性預金は大幅に増加となりました。これは、新たなお客さまが増えたことに加え、新型コロナウイルス関連融資の滞留金や持続化給付金・特別定額給付金の滞留金が増えたことが主な要因です。

今後もお客さまの様々なご要望やご意見にできる限りお応えし、皆さまに喜ばれるサービスを目指してまいります。

### 【貸出金】

貸出金は、2020年3月末に比べて310億円増加し3,754億円となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、お客さまの資金繰り支援に積極的に取組んだ結果、保証協会保証付貸出等の事業性貸出金が278億円増加したことが主な要因です。また、預貸率は0.33ポイント増加しました。これは貸出金の増加率が預金の増加率を上回ったためです。

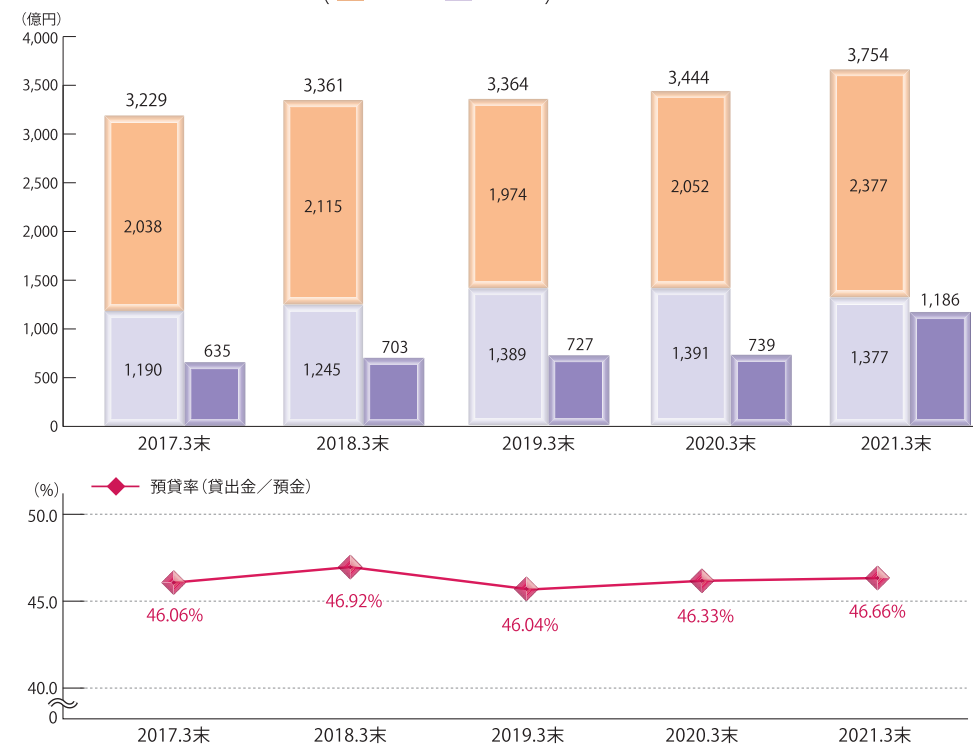
今後も地域の皆さまがかかえておられる課題の解決に全力で取組み、適切で円滑な資金提供に努めてまいります。

### 【業種別構成比】

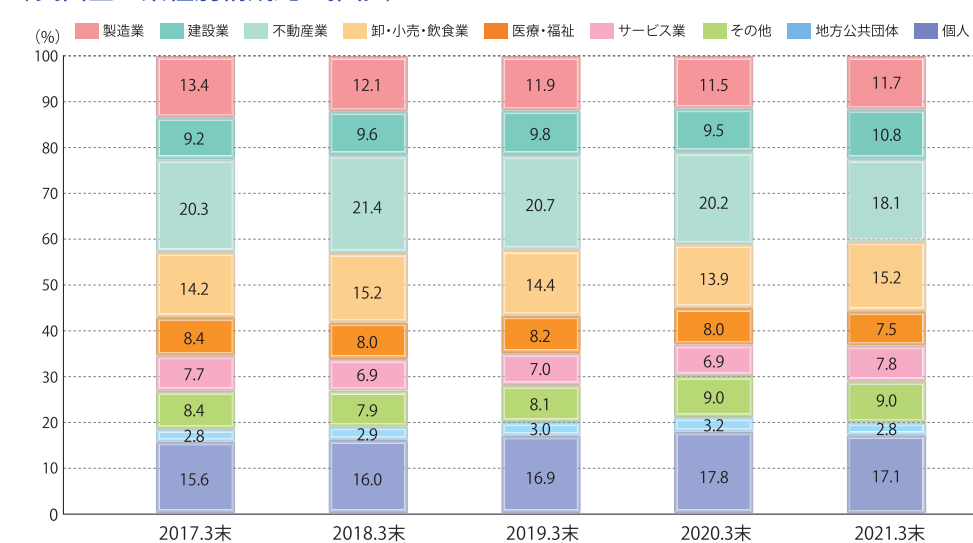
貸出金の業種別構成比の推移をみると、2020年3月末に比べて建設業、卸・小売・飲食業で1.3ポイント、サービス業で0.9ポイント、製造業で0.2ポイント増加し、新型コロナウイルス関連融資を必要とされた業種が大きく伸びました。それに反して、不動産業で2.1ポイント、個人で0.7ポイント、医療・福祉で0.5ポイント、地方公共団体で0.4ポイントの減少となっています。

個人向けの貸出金の構成比が減少していますが、これは住宅ローンの増加の割合に比べて、新型コロナウイルス関連融資による事業性貸出金の増加の割合の方が大きいことによります。

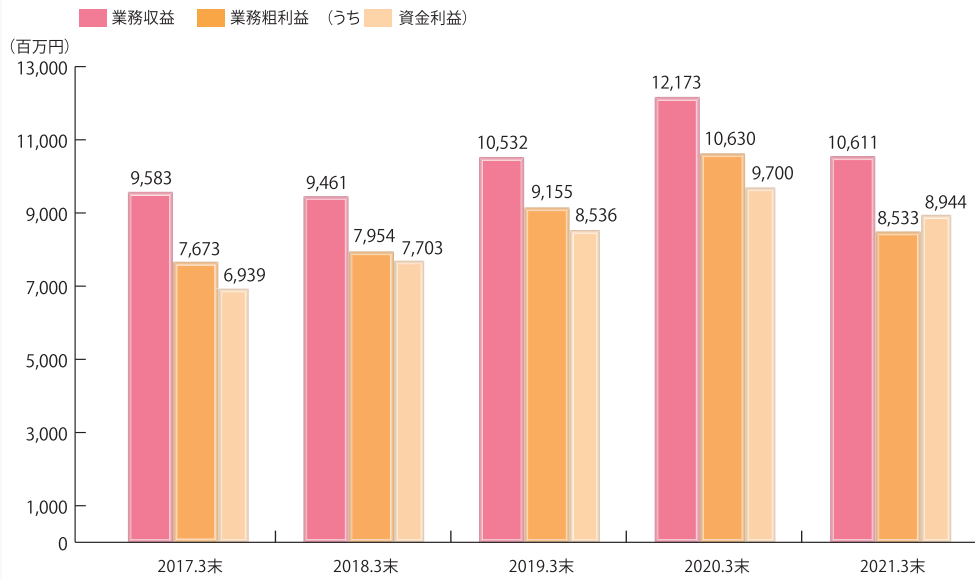
## 〈貸出金と預貸率〉



## 〈貸出金の業種別構成比の推移〉



### 〈業務収益、業務粗利益(うち資金利益)〉

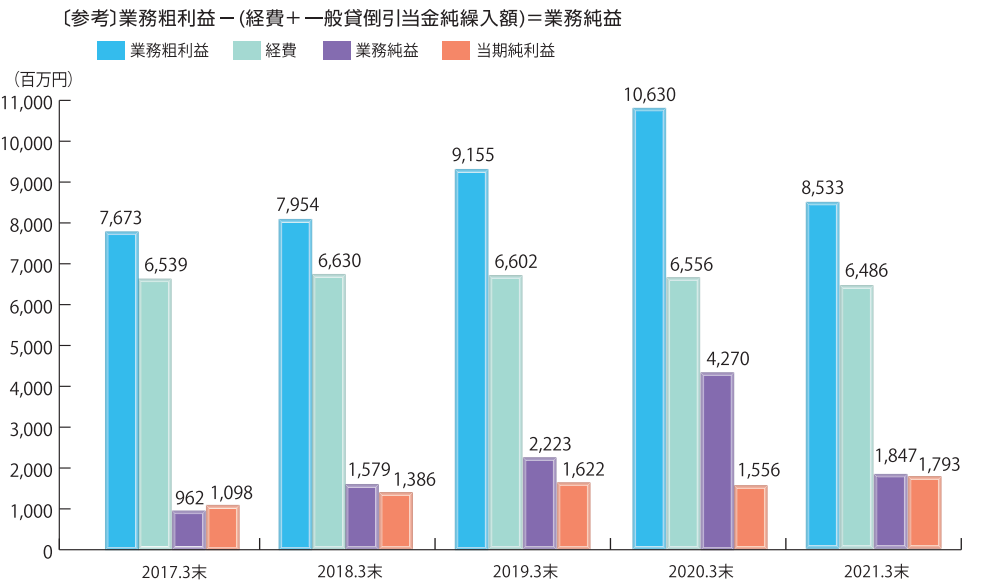


業務収益(貸出金利息収入、有価証券等運用収入、役員取引収入等)は、一般企業の売上に当たります。貸出金利息収入や有価証券利息収入が減少し、債券からの益出しを控えたことから2020年3月末に比べて1,561百万円の減収になりました。

業務粗利益(業務収益－預金利息等の原価)は、業務収益の減収に加えて、債券売却損が606百万円増加したことにより、2020年3月末に比べて2,096百万円の減益となりました。

金庫の中核的業務から得られる資金利益(貸出金と有価証券の運用から発生する利益－預金支払利息)は、貸出金利回、有価証券利回など運用利回の低下により2020年3月末に比べて755百万円の減益となりました。

### 〈業務粗利益、経費、業務純益(業務粗利益－経費等)、当期純利益〉

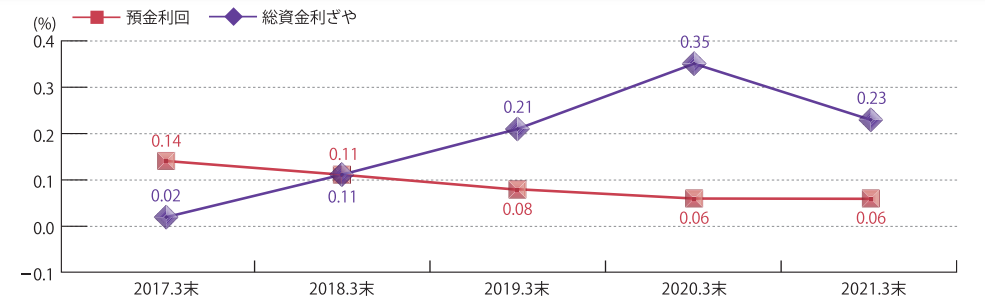
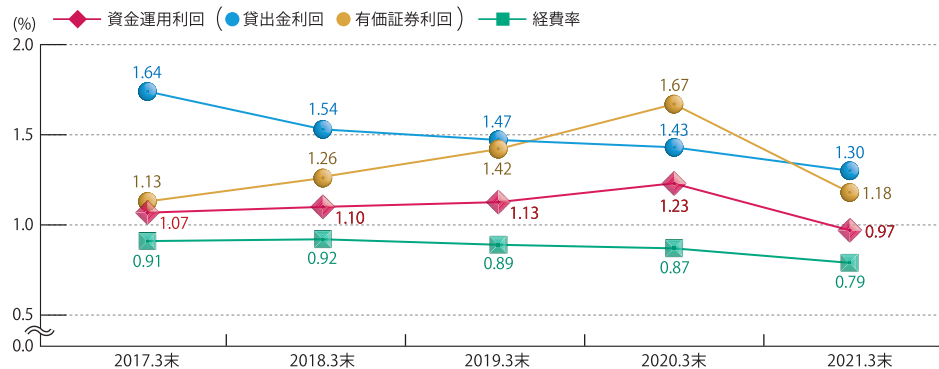


経費は、新型コロナウイルスの影響による各種イベントの中止などから2020年3月末に比べて69百万円の減少となりました。

業務純益は、業務粗利益の2,096百万円減益に加え、業況が悪化した債務者に対する一般貸倒引当金繰入額が394百万円増加したことにより2020年3月末に比べて2,422百万円の減益となりました。

当期純利益は、株式等売却益の増加や不良債権処理費用の減少により236百万円増益の1,793百万円となりました。

### 〈資金運用利回(貸出金利回＋有価証券利回)、預金利回、経費率、利ざや〉

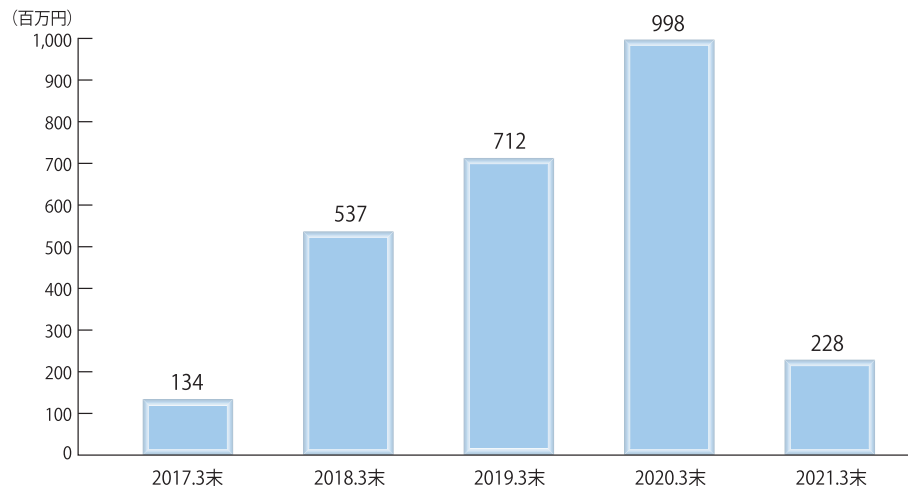


資金運用利回は、低い市場金利の影響で有価証券利回が低下し、また、新型コロナウイルス関連融資など低金利融資の増加により貸出金利回も低下したことから0.97%になりました。

総資金利ざやは、資金運用利回が低下したことから0.23%になりました。

これからも収益力の強化に努めてまいります。

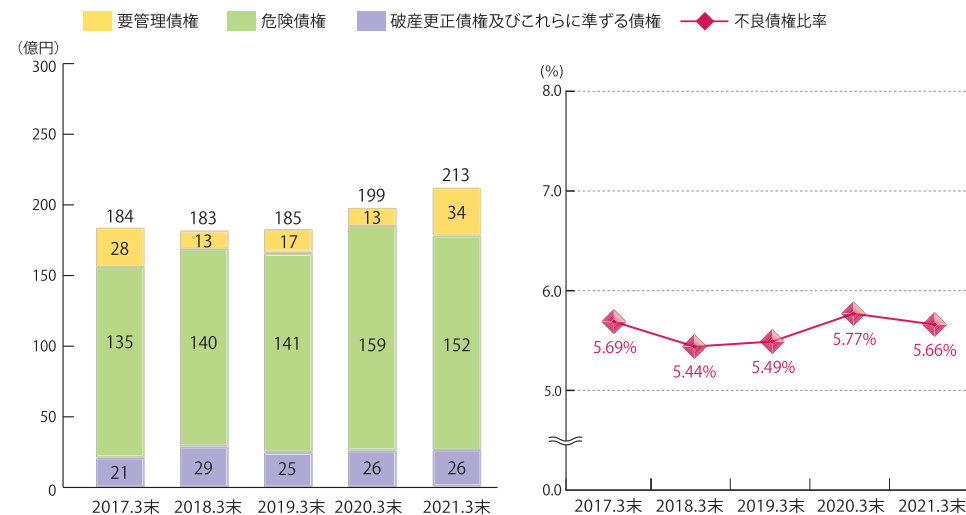
〈貸出金にかかる不良債権処理費用等\*〉 \*貸出金にかかる不良債権処理費用等は、一般貸倒引当金純繰入額、個別貸倒引当金繰入額、債権償却額等の合計額です。



2021年3月末の不良債権処理費用等は、2020年3月末に比べて大きく減少し228百万円となりました。これは、不良債権処理費用等が発生する目立った不良債権がなく、また、経営支援等による債務者区分の良化等もあり、不良債権処理費用等は、2020年3月末に比べ769百万円減少したものです。

今後も貸出債権の不良化防止に向けて、お客さまの課題についてきめ細かな支援を全力で取組むとともに、将来のためにも十分な引当を行ってまいります。

〈不良債権(金融再生法上の開示債権)の内訳と不良債権比率〉



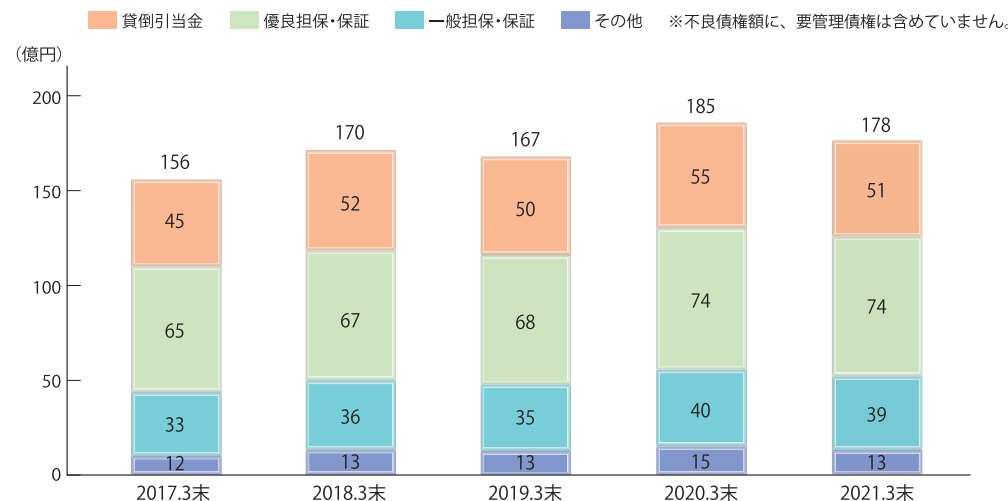
不良債権は、要管理債権、危険債権、及び破産更生等債権に分類されます。

2021年3月末の不良債権残高は213億円となり、新型コロナウイルスの影響等で貸出条件緩和債権が増加したことにより、2020年3月末に比べて14億円の増加となりました。しかし、積極的な融資の取組みで貸出金が増加したこと等により正常債権も大きく増加したことから、不良債権比率は5.66%と2020年3月末に比べて0.11ポイントの低下となりました。

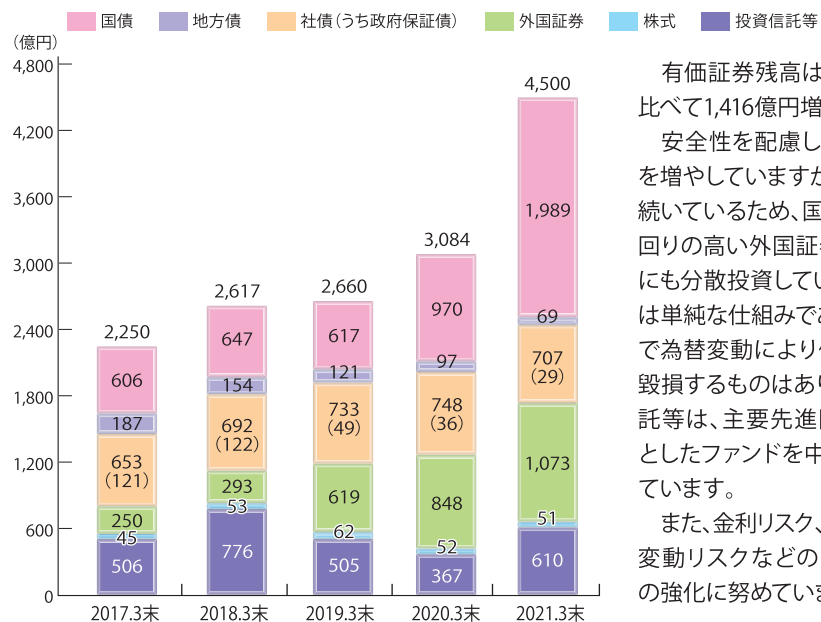
これからも、事業性評価や外部支援等を活用して、お客さまの経営改善に一体となって取組み、不良債権の減少に努めてまいります。

〈不良債権(要管理債権を除く)の保全状況〉

2021年3月末現在の不良債権(要管理債権を除く)は178億円ありますが、その保全状況は右の通りです。貸倒引当金は51億円積んでいます。会計上51億円は損失処理済といえます。優良担保・保証(保証協会保証等)で保全されている額が74億円、一般担保(土地・建物等)・保証で保全されている額が39億円、合わせて114億円は回収が確実であると見込んでいる額です。残りの13億円は、これまでの回収実績等から見て回収可能と見込まれる額です。

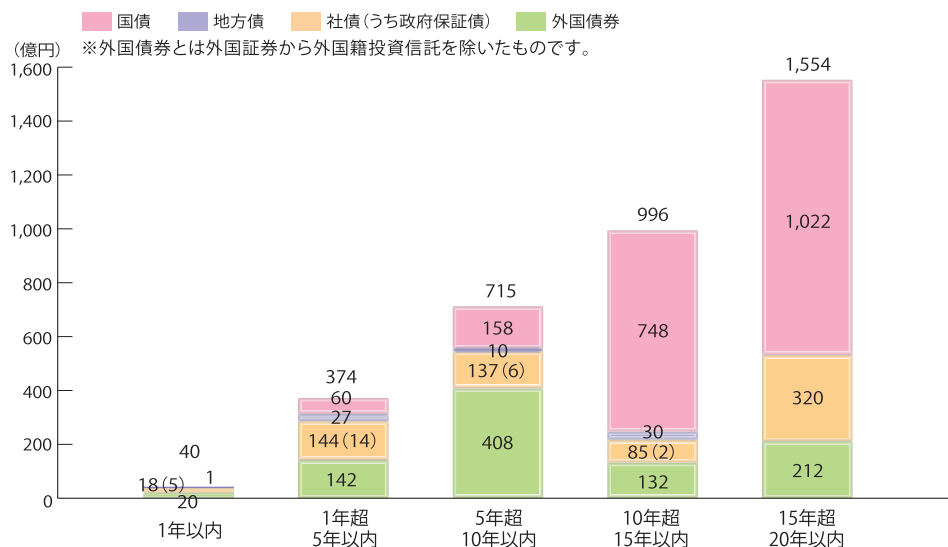


### 〈有価証券の種類別保有状況〉



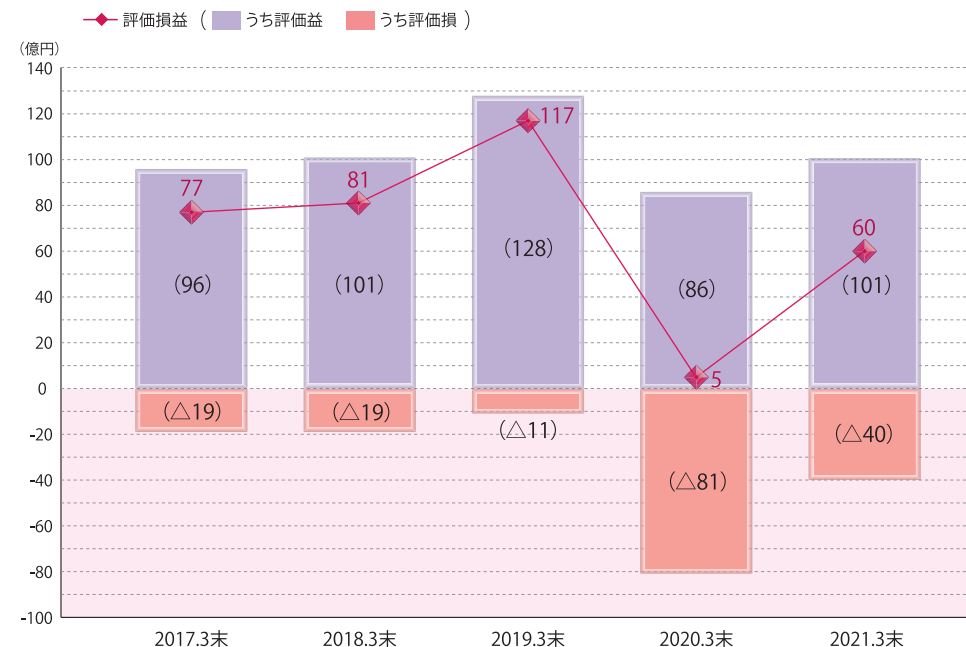
有価証券残高は2020年3月末に比べて1,416億円増加しました。  
 安全性を配慮して国債への投資を増やしていますが、低金利環境が続いているため、国内債に比べて利回りの高い外国証券や投資信託等にも分散投資しています。外国証券は単純な仕組みであり、全て円建てで為替変動により償還時の元本を毀損するものではありません。投資信託等は、主要先進国の国債を対象としたファンドを中心に分散投資しています。  
 また、金利リスク、為替リスク、価格変動リスクなどのリスク管理態勢の強化に努めています。

### 〈債券〔償還までの期間別に見た残高〕(2021年3月31日現在)〉

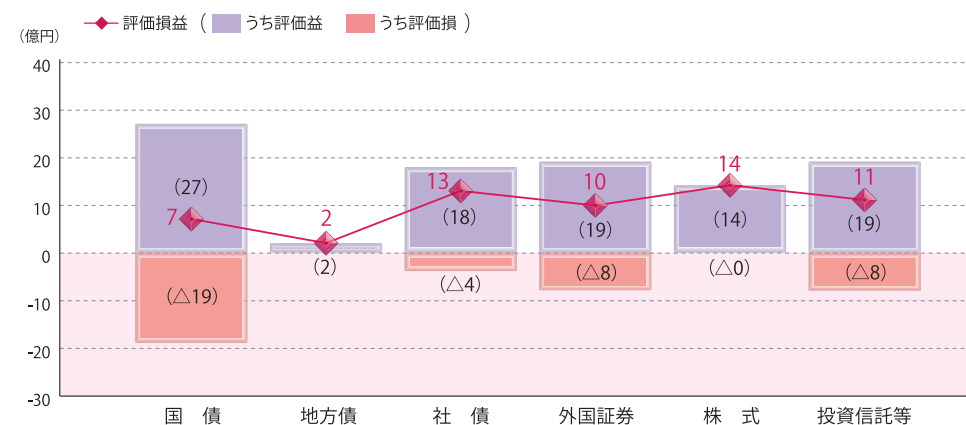


有価証券のうち株式及び投資信託等を除いた債券について、その償還までの期間別に保有残高を示したグラフです。期間10年以内の国債の利回りは0%付近であるため、期間10年超20年以内の国債、地方債、社債、外国証券にも投資しています。なお、期間20年超の債券への投資は行っていません。

### 〈有価証券の評価損益の推移〉



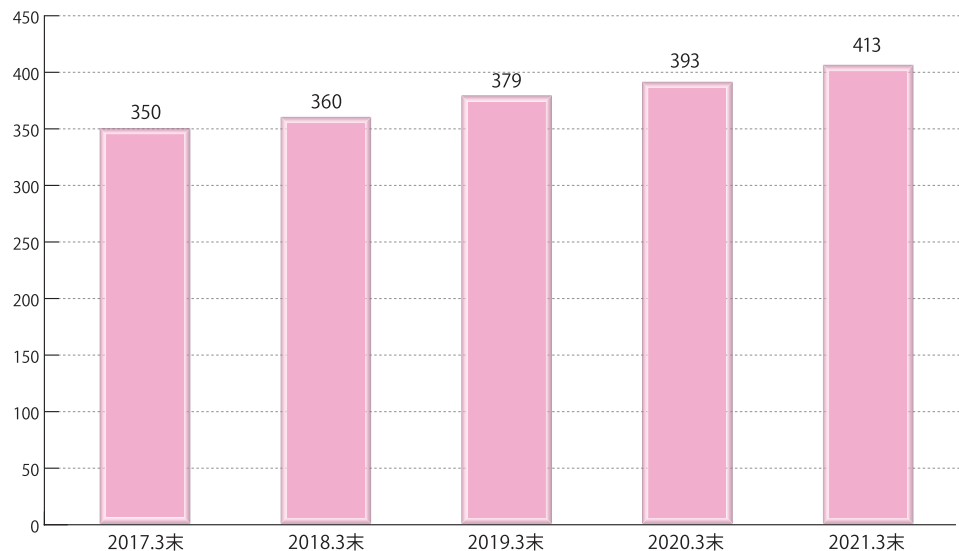
### 〈有価証券の種類別の評価損益(2021年3月31日現在)〉



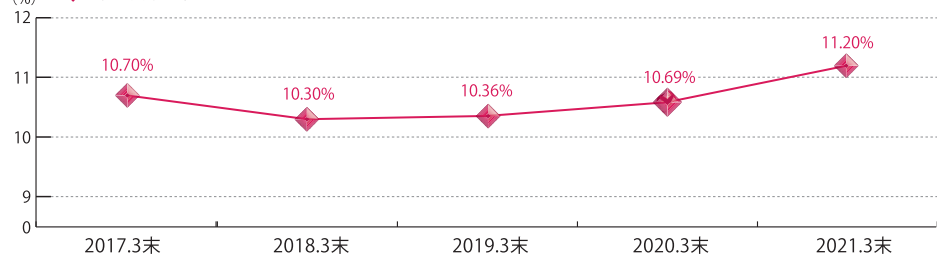
2021年3月末の有価証券の評価益は101億円、評価損は40億円、有価証券全体で差引60億円の評価益となっています。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受けた2020年3月末と比べて有価証券の評価損益は55億円の大幅な良化となりました。  
 全ての種類で評価損益はプラスとなっています。

## 〈自己資本と自己資本比率(信用金庫単体)〉

(億円) ■ 自己資本額



(%) ◆ 自己資本比率



(億円)

	2017.3末	2018.3末	2019.3末	2020.3末	2021.3末
リスクアセット	3,271	3,500	3,660	3,680	3,689

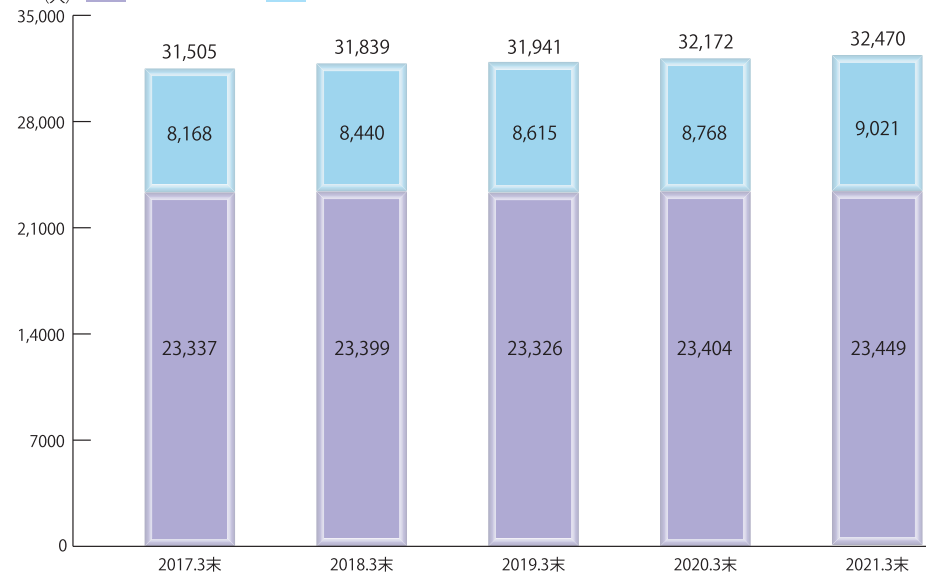
自己資本比率は、2021年3月末で11.20%となりました。

〈にっしん〉の自己資本比率は、自己資本の額が20億円増加したことから、2020年3月末に比べて0.51ポイント向上しました。国内基準である4%を大きく上回り、経営の健全性、安全性を十分に堅持していると考えています。

これからも、事業活動を通じて得る収益によって自己資本の充実を図ってまいります。

## 〈会員数〉

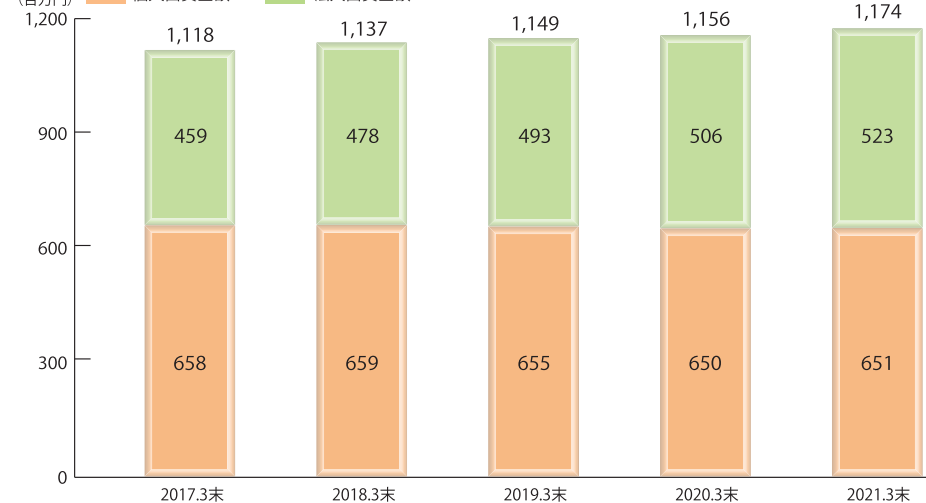
(人) ■ 個人出資者数 ■ 法人出資者数



新規融資先の増加により、会員数が増加しています。

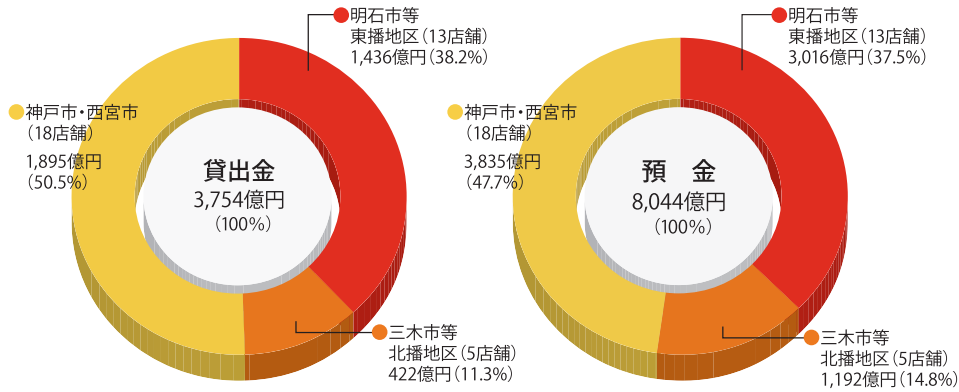
## 〈出資金額〉

(百万円) ■ 個人出資金額 ■ 法人出資金額

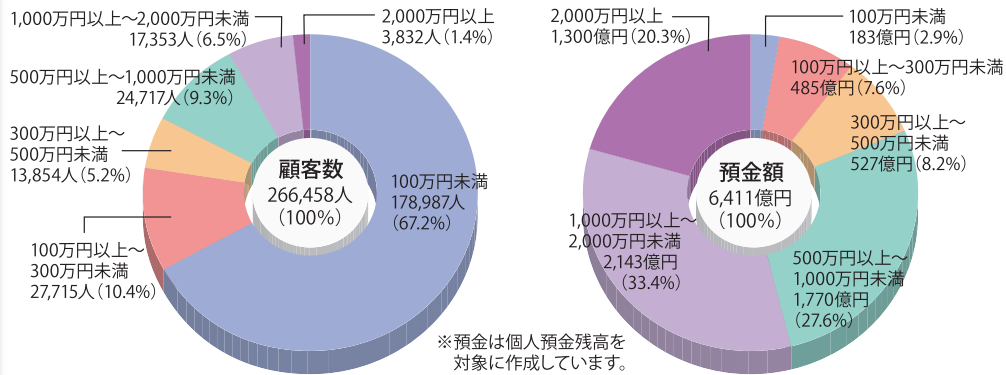


会員数の増加に伴い、出資金額も増加しています。

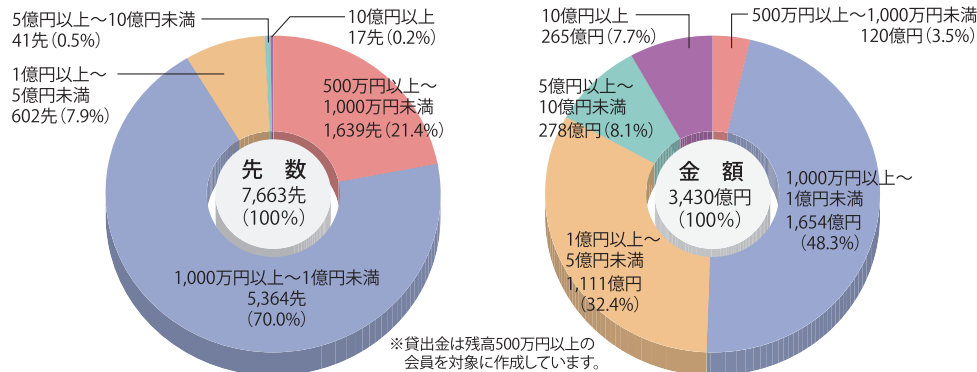
〈貸出金・預金の地域別構成〉 (2021年3月31日現在)



〈預金者のプロフィール〉〈個人預金の残高階層別に応じた顧客数と預金額〉 (2021年3月31日現在)



〈貸出先のプロフィール〉〈貸出金の残高階層別に応じた先数と金額〉 (2021年3月31日現在)



〈信用金庫の中での〈にっしん〉のシェア〉 (2020年9月30日現在)

